

## さんぽく南・さんぽく北小学校統合合同検討会（第4回）会議録（要旨）

### 【H29. 1. 17 さんぽく会館】

参加者：26名

小学校PTA代表14名、保育園父母の会代表3名、区長連絡協議会役員5名、学校4名

- ・開会
- ・教育長あいさつ
- ・検討事項
- ・今後について

- 参加者 南小学校PTAでは、使用校舎の決定において特に重要な項目は「災害時避難経路・場所」と「校舎」と判断した。
- 参加者 北小学校PTAでは特に重要な項目は「立地条件」と「統合後の廃校舎の活用」とした。
- 参加者 おおぞら保育園父母の会は特に重要な項目は、災害発生時を考えると命には代えられないことから「災害時避難経路・場所」、そして「有識者の意見」とした。これは校長経験者の意見ということで、子どもたちのことを考えた内容であり最大限尊重すべきであると考えた。
- 参加者 にじいろ保育園父母の会では、災害の時にどうなのかが一番だという意見であった。次は、「通学路・通学時間・通学距離」で中学生と一緒に通学ができるのではないかという意見です。
- 教委 意見の隔たりが大きいですが、どのようにすり合わせ、歩み寄りを考えていったら良いか。
- 参加者 重要度の選び方、考え方が違うのではないかと。北小では公正、客観的に判定した。大差がないものについては重要度の判断をしていない。
- 参加者 南小では学校は子どもたちが長い時間過ごす場所という観点で重要なものを選んだ。避難場所の評価については大差はない。
- 参加者 統合は子どもたちのため、というのは皆の一致した考えだ。子どもたちがどうしたらよく学べるのか、ということが重要ではあるが、立場、立場で評価の考えは違ってくる。
- 参加者 議論はし尽した。教育委員会に一任してはどうか。
- 参加者 教育長が最初から言っている方向で行けばいい。
- 参加者 北小と南小の意見だけでも評価の視点で大幅な違いがあり驚きだ。どうしてこの評価なのか、相手の意見を聞きたくはないのか。このままの形では残念。お互い理解を進めていきたいと思う。
- 参加者 お互いメリット・デメリットはある。子どもが中心。それを中心に話を進めていくことは皆わかっている。
- 参加者 メリット・デメリットの判断は考え方で変わるが、やはり安全と学習環境が大事である。
- 参加者 最終判断は市が行うもの。しかし比較検討表のある一定程度のすり合わせは必要ではないか。その上で市が決定したら良い。
- 参加者 評価の甲乙はつけがたい。有識者の意見はごく自然な回答、本音であると思われる。第三者の意見を尊重すべきではないか。
- 教委 平林小・砂山小の統合については3回の合同検討会で合意形成に至った。話し合いでは両校・地区のいろんな思いが出された。最後は、話し合いは十分したんだ、思いは伝えたんだ、そこで教育委員会がどう判断するんだ、ということであった。十分に話し合いはした、というその事実を区長が地域に伝えさせてもらうということで、分かったと言っていた。その結果平林地区では1年先に中学校が無くなり、そして小学校も無くなり、地区から学校が無くなるが、それでも分かったと言ってくれた。1学区における山北地区の均衡を考えると、やはり南小学区から学校が無くなることを地域の皆さんが許して下さるのか。北小学区には中学校があって、体育館を中学校の部活動で使うとか廃校利用にもっといろんなアイデアが出されると思う。校舎の比較でも共通して南小が優位との判断であり、理解していただけないか。

- 参加者 一学区における山北地区内の均衡については評価の視点が違う。地域影響の均衡を考えれば、現在地区の中心は八幡地区になっているので、学校施設だけでなく大所高所に立って山北のランドデザインを考えた場合、北小を統合小学校とした方が良いと判断した。
- 教委 山北全体の発展、それについても検討した結果、こう判断したとはしていただけないか。廃校舎活用は南小学校の方がいろんな転用ができると考えられるが、子どもたちの学べる環境の整っているのは南小だと思う。廃校舎の利活用より子どもたちの学ぶ環境から教育委員会としては、やはり南に学校を残すということを大事にさせてもらっている。
- 参加者 お互いに出した評価の表がかい離したまま市に渡すのであれば、ただ評価した既成事実だけであまりいい使い方ではない。北小では行事については南小の伝統行事を考慮し南小にメリットが有るとしている。意見の違いをそのままにしておくのではなく、大きく違ったところだけでも解消して渡す、というのはダメか。もうここまで違うと収拾がつかないからはいどうぞ、とやるのは乱暴だ。
- 参加者 市の全体のスケジュールの考えはどうなっているか。
- 教委 他の地区は内諾をいただき6月議会に学校設置条例の改正を上程する予定である。校名、場所について議会に諮らなければならないので、今年度いっぱい決めていただきたい。他の地区はすべてが校名、校章等の検討に入っている。
- 参加者 意見はだいぶ出た。各検討項目はほぼ大差なく、校舎は南が新しく立派である。有識者の考えは専門家の意見であり重要だと思う。当初の教育委員会の提案のとおりで良い。
- 参加者 最終的に教育委員会に結論を委ねたい。校舎の選定理由については、保護者に詳しく説明してほしい。
- 参加者 第1回の合同検討会には保護者全員に案内したが、三十数名しか出席者がなかった。真面目に考えているならもっと参加しなければならない。
- 参加者 考え方の違う部分は学校が一つになれば、不安な部分もある。時間があつたら少し話し合いしたら良い。
- 参加者 統合の必要性について、また今日、教育長から学習指導要領の改訂に向け教員数の確保が必要であることの説明を受けた。教育に携わる方々が考えたことであり、子どもたちの望ましい教育環境というものを作っているだろうスケジュールになっていると思う。ただ、論点整理やお互いの良いところを出したにしても、心すっきり納得することは何回検討会に出席しても残念ながらできない。しかし、決めていただいて前へ進んで行くように考え方を変えていかないと、子どもの教育環境を考えるという会議の内容にふさわしくない。将来のことにもっと時間を費やした方が良い。それを踏まえて教育委員会で決めていただきたい。
- 参加者 教育委員会に委ねることになれば、持ち帰って話し合いになるのか。
- 教委 この会で合意形成を図ることになる。合意を得て正式決定機関となる統合推進委員会を新たに立ち上げなければならない。両校、地域から委員を出していただき、合同検討会での合意を尊重していただいて正式決定する。6月議会での条例改正には所在地、校名の手続きが必要で、4月中に議案を提出しなければならない。
- 参加者 検討表のすり合わせを進めてはどうか。その資料で教育委員会で決定してもらってはどうか。
- 参加者 もう結論の出ていることをまだやるのか。合わない部分を合わせるというのはできるのか。
- 参加者 遺恨を残さないよう、その意見の開きの理由が知りたい。だが、いたずらに時間を伸ばすつもりはない。お互いに出しっぱなし、かい離した状態でおくより、公式、非公式問わず話をする機会があってもいいのではないかと。もう少しお互いに納得する部分があれば市に委ねられる。
- 参加者 教育委員会に結論を委ねることでお願いしたい。提案のあった南小学校との決定は、教育委員会でどのように話が行われたのか。
- 教委 学校教育課で有識者の意見を聞き、また、学校訪問での施設の状況、地域バランスを考えて南が良いのではないかと提案させていただいた。教育委員会の定例会では議題とはしていない。

- 参加者 検討結果を後世にきちんと残すべき。相互理解が進まず、かい離がある。せめて、検討表だけでもある一定のものにしたい。今日で検討会は終わり、あと市の方で決定というのではなく、時間があれば検討表について検討したい。
- 教委 合同検討会を終了するという事は、議題にある使用校舎を決定しそれを受けて推進委員会に移行するという事で、その決定は本日いただくという形になる。
- 参加者 検討表について議論しても良いの発言は、今日時間があれば議論してこの場で決定していくとの意味である。
- 教委 他地区の検討会でも、話し合いを重ねる中で、納得はいかないが相違点についても話し合いをした。理解いただくということは難しいが、建設的な意見をいただきながら納得していただく。そのような手順で話し合ってきた。さんぼく南小学校の校舎を使うということで、北小では納得いかないことも承知で提案させてもらっている。意見も出尽くした。何とか合意形成を図っていただけないか。その上で新たな教育活動を考えることにエネルギーを使わせていただきたい。
- 参加者 検討表を出したのがゴールであればその決定には従わなければならない。統合小学校で遺恨を残さないようにするには今回の結果は残念。しかし検討会をここで閉めて市に委ねるのであればそれに従わなければならない。
- 教委 教育委員会の方でということですが、先に提案したとおり南小学校を使用校舎とすることで皆様の合意を得たということで、統合同議検討会を終了するという事でよろしいか。
- 参加者 全員了承する。
- 教委 今後は、統合推進委員会という設置要綱に定められた会議において正式に校舎、統合形態、校名を決定していきます。各PTAから2名ずつ、区長代表各学区2名ずつ、各学校長、教頭そして教育委員会1名という構成です。委員の選出についてご協力をお願いします。2月中旬に第1回会議を開催しないと、その後のスケジュールがきつくなる。統合推進委員会は開校までの期間となり、できればPTAの皆様には交代なく同じ人をお願いしたい。

・閉会